

# 水道資料3

## 令和元年度 滝沢市水道事業の進捗状況

### 1 概況

令和元年度の水道事業は、滝沢市水道ビジョンの基本理念である「信頼され続ける水道」を経営の基本方針とし、安全でおいしい水道水の安定供給に努めています。

#### 「安心・安全」安心して飲むことができる安全な水道

##### ■水源の確保と保全

- ・ 柳沢地区の水源活用の基本計画を見直し、新規地下水源の確保に替え柳沢大湧口を含めた整備計画を策定しました。
- ・ 水源涵養地として昨年度取得した姥屋敷水源の隣接地 6,099 m<sup>2</sup>の間伐を実施しました。

##### ■安全な水の供給

- ・ 安全な水道水の供給のため、水質管理を徹底しています。
- ・ 表流水水質の監視と適正な浄水処理を継続し、安全な水を供給しています。

##### ■給水サービスの向上

- ・ 配水管の各所に設置された減圧弁の点検調整を行い、給水圧の適正化を図ります。
- ・ 昨年度貯水槽水道の管理状況について実施したアンケートに基づき、指導助言が必要と思われる施設設置者に対し規則などの送付を年度末までに実施し、水質管理の徹底を図ります。

#### 「安定・強靱」安定した給水を実現する強靱な水道

##### ■水道施設の適正化

- ・ アセットマネジメントを基に配水管整備計画や老朽管更新計画の策定を進めています。
- ・ 道路改良事業等に併せた配水管整備や重要給水施設経路の耐震化のため約 7.0 k m(11地区)の路線について配水管を布設しています。(平成 30 年度繰越分を含む)
- ・ 配水区域の細分化した流量測定のため 2 か所の流量計室を整備します。
- ・ 市内全域(一本木系、湯舟沢高区系を除く)の配水系について漏水調査を実施中です。

##### ■災害応急対策の推進

- ・ 10月に盛岡市と合同で、連絡管操作訓練を行いました。
- ・ 緊急貯水槽遮断弁の作動復旧訓練および応急給水所の給水タンク設置訓練等を実施する予定です。

##### ■給水区域の拡大

- ・ 簡易水道統合が完了した一本木地区との水系間の水融通機能について検討、設計を実施しています。

#### 「環境・持続」環境に配慮した持続可能な水道

##### ■顧客サービスの向上

- ・平成29年4月1日から包括的委託により開設したお客様センターとの連携を図り、ワンストップサービスによる迅速な対応や宅地内漏水の早期発見に努めました。
- ・上下水道広報誌「ちゃぐ水だより」を作成配布しました。
- ・滝祭2019（第37回滝沢市産業まつり、第4回滝沢市商工会まつり）に出展し、親子連れを中心に500人以上の方が来場しました。パネルや模型などの展示物を見学し、質問される方も多数いました。またイベント中、実際に鶴飼地区に埋設される予定の耐震管表面塗装部に絵やメッセージを書き、来場した親子がいっしょに水にふれあうことができました。

#### ■環境対策の推進

- ・浄水処理や工事で発生する浄水汚泥や建設副産物の適正処理を継続しています。
- ・浄水場の適正な運転管理を行い、すべての配水池からの自然流下での給水を維持し、水の位置エネルギーを有効活用、省エネルギー化に努めました。

#### ■財政の健全化

- ・水道料金の未納対策について、包括業務受託者と連携を図り取り組んでおり、過年度分の10月期収納率は**96.78%**、前年度同期比較で**2.01**ポイントの**増**、額にして**218,961円**の**減**となっています。
- ・業務効率を高めるため、引き続きメーター交換管理業務の委託を行いました。

#### ■人財育成と組織力の強化・技術の継承

- ・5月に策定した滝沢市水道事業中期経営計画（後期）により、職員の経験年数や担当業務に応じた研修会を受講しています。
- ・周辺の小規模事業体6市町で組織している「岩手紫波地区水道事業協議会」の研究会に参加しました。

#### ■官民連携・広域連携の推進

- ・台風19号発生の際、災害時における応援協力に関する協定を締結している包括業務受託者と協定内容に関する対応の確認を行いました。
- ・岩手県水道事業広域連携検討会盛岡広域ブロック検討会において、各構成事業体の連携を図るため、相互の経営審議会を傍聴する等の活動を実施しています。
- ・盛岡市と滝沢市の相互連絡管（※）を使用した応援給水訓練を行いました。  
※盛岡市と滝沢市の市境をつなぎ災害時などに水を融通しあうために作られた管

目標指標(令和元年度は12月時点見込)

区 分	指 標	説 明	H26	H30実績 前期計画 最終年度	R1 見込	R4 目標値
安心・安全	塩素臭から見たおいしい水達成率(%)	残留塩素濃度から見た、管理目標達成率(0.4ミリグラム/リットル以下)	75.0	100.0	100.0	100.0
	地下水率(%)	水源、利用水量のうち地下水の割合。	95.0	98.6	98.0	98.0
安定・強靱	有収率(%)	年間有収水量を年間配水量で割ったもの。なお、有収水量にはメーター不感水量2%考慮している。	90.1	90.3	91.0	92.0
	配水池貯留能力(日)	一日平均配水量の何日分が配水池などで貯留可能であるかを表しており、給水に対する安全性、災害・事故等に対する危機対応性を示す。	0.85	0.86	0.86	0.87
	給水拠点密度(箇所/km <sup>2</sup> )	給水区域当りの拠点数であり、緊急時の利用しやすさを表している。	8.9	8.9	8.9	10.4
	配水池耐震施設率(%)	耐震対策の施されている配水池容量の割合。	46.1	49.0	49.0	54.7
	管路の耐震化率【全線】(%)	管路総延長のうち耐震管の占める割合。	20.0	31.1	31.1	34.5
	管路の耐震化率【幹線】(%)	幹線管路のうち耐震管の占める割合。	17.4	26.2	26.0	27.6
環境・持続	経営資本営業利益率(%)	経営成績に対する総合的な指標であり、投下した経営資本と営業利益の関係を表す指標であり、指標は高いほど良い。	2.9	0.6	1.0	1.4
	経常収支比率(%)	収益性を見る最も代表的な指標で、この比率が高いほど経常利益率が高いことを表す。	133.0	114.9	115.7	122.9
	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	給水収益に対する企業債残高の割合を示しており、企業債残高の規模と経営への影響を分析するための指標。	221.8	269.8	269.9	224.0
	給水原価(円/m <sup>3</sup> )	有収水量1m <sup>3</sup> 当りについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもの。	154.3	172.8	174.5	187.0
	水道業務経験年数度(年/人)	業務は経験によってその遂行能力にも差が出るので、組織全体とすれば十分経験を積んだ職員がいることが望ましい。	4.5	7.0	7.0	7.0
	配水量1立法メートル当たり消費エネルギー(MJ/m <sup>3</sup> )	全施設での総エネルギー消費量を年間配水量で割ったもの。	1.03	1.03	1.02	1.03

## 2 令和元年水道事業会計について

### (1) 収入及び支出の決算見込額

単位：百万円

区 分		令和元年度 決算見込 A	平成30年度 決算 B	比較増減 A - B
収益的 収入及び 支出 (消費税抜)	① 水道事業収益	1,028	1,041	△ 13
	うち給水収益	837	839	△ 2
	うち長期前受金戻入益	86	89	△ 3
	② 水道事業費用	950	907	43
	うち減価償却費	398	396	2
	うち支払利息	34	35	△ 1
③ 差引 (① - ②)		78	134	△ 56
資本的 収入及び 支出 (消費税込)	④ 資本的収入	70	107	△ 37
	うち企業債	50	90	△ 40
	⑤ 資本的支出	646	559	87
	うち建設改良費	512	436	76
	うち企業債元金償還	134	123	11
⑥ 資本的収支不足額 (⑤ - ④)		576	452	124
企業債残高		2,183	2,267	△ 84
流動資産 - 流動負債 (企業債除く)		721	928	△ 207

- ※ 令和元年度予定損益計算書 3-7に掲載  
 令和元年度予定貸借対照表 3-8に掲載  
 令和元年度予定キャッシュ・フロー計算書 3-10に掲載

### (2) 主な保存工事

単位：百万円 (消費税及び地方消費税込)

費用区分	事業内容	事業費 財源：給水収益
原水及び浄水費	令和元年度小岩井第2配水池緊急遮断弁用地震計交換工事	11
	令和元年度柳沢浄水池らせん階段塗装工事	
	令和元年度湯舟沢配水池フェンス扉設置ほか工事	
	浄水施設修繕工事	
配水及び給水費	減圧弁修繕工事	71
	舗装復旧工事	
	配水施設修繕工事	
事業費合計		82

## (3) 建設改良費の主な内容(12月時点見込)

(単位: 百万円、消費税及び地方消費税込)

区分	事業名称	事業内容	予算額		財源内訳	
営業設備費	土地取得費	姥屋敷水源周辺水源涵養地取得事業 取得面積 0 m <sup>2</sup>	水源保護用地取得費	0	自己資金	0
			計	0	計	0
	機械及び装置取得費	量水器・直購入 量水器・貯蔵品出庫	量水器取得費	53	自己資金	53
			計	53	計	53
事業費計						53
水道施設整備費	基幹水道施設整備事業費	より安全な水道水の供給を確保するため、各施設の能力向上を図る。 駒形配水池ほか無停電電源装置改良工事	工事費及び補償費	11	自己資金	11
			計	11	計	11
	老朽施設更新事業費	耐用年数を経過し、運転管理・水質管理に支障を及ぼす恐れのある施設を更新する。 小岩井第2配水池ほか流量計更新工事	工事費及び補償費	12	自己資金	12
			計	12	計	12
	事務費	人件費等		19	自己資金	19
			計	19	計	19
事業費計						42
配水管整備費	配水管整備事業費	道路改良事業等に併せ配水管整備する。 牧野林地区工事 塩の森地区 向新田地区工事 高森地区工事 施工総延長 895 m	工事費及び補償費	40	自己資金	40
			計	40	計	40
	老朽管更新事業費	老朽化が進行した配水管の有効率向上のため、耐震管に布設替える。 巢子地区工事 巢子地区工事(東配25) 巢子地区工事(東配31) 巢子地区工事(東配33) 湯舟沢地区工事(配45) 湯舟沢地区工事(送3・配42) 牧野林地区工事(配38) 吉水地区工事 迫地区(配8) 施工総延長 6,115 m	工事費及び補償費	328	自己資金 地方債	282 50
			調査設計費	4		
			計	332	計	332
	その他配水管整備費	漏水対策事業: 配水系をブロック化し、漏水調査地域を絞り込むための施設を整備する。 流量計室設置工事 2基	工事費及び補償費	3	自己資金	3
計			3	計	3	
事務費	人件費等		28	自己資金	28	
		計	28	計	28	
事業費計						403
建設改良費合計						498

(4) 建設改良事業計画及び進捗状況

施設	整備内容	年次計画(百万円)				進捗状況
		元年度	2年度	3年度	4年度	
取水施設	柳沢取水ポンプ場 非常用発電設備更新			100		柳沢大湧口を含めた柳沢地区水源 活用の基本計画を見直し、発電機 の規模について再検討を実施
	柳沢取水ポンプ場 取水ポンプ更新				18	令和4年度に第3水源ポンプを更新 予定
	金沢川取水口		10			令和2年度に沈砂池について取水 口、バルブ、ドレン管等の更新予定
導水施設	柳沢水源と岩手山 水源の連絡管整備	9 0	15	150	0	柳沢大湧口を含めた柳沢地区水源 活用の基本計画見直しにより送配 水連絡管整備へ計画変更
浄水施設	駒形・小岩井第2配 水池	9 11				令和元年度に停電対応設備(無停 電電源)更新を実施
	駒形・小岩井第2配 水池			10		令和3年度に滅菌設備更新予定
配水池	柳沢高区配水池			15	150	令和3年度から4年度にかけて高区 配水池を増設予定
設備更新	電気計装設備	30 13	30	30	30	令和元年度は小岩井第2配水池ほ かの流量計更新を実施、保守点検 の結果により継続実施
配水施設	配水管整備	0 40	0	140	50	令和元年度 4箇所 L= 895m 令和2年度 0箇所 L= 0m 令和3年度 2箇所 L=2,200m
	配水管更新	330 280	330		123	令和元年度 7箇所 L=5,473m 令和2年度 6箇所 L=4,500m 令和3年度 0箇所 L= 0m
	配水管移設	0				令和2年度以降に県道関連移設予 定あり(事業費は更新費に含む)
	配水流量計室築造	4 3	4	4	4	令和元年度 2箇所 令和2年度 4箇所 令和3年度 4箇所
用地	水源保全用地取得	10 0	10	10	10	水源涵養地取得
事業費	計画	392	399	459	385	1635
	実績	347	0	0	0	347
凡例	中期経営計画 決算	事業費 事業費	※R1は12月時点見込			

令和元年度滝沢市水道事業予定損益計算書  
 (平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:千円、消費税及び地方消費税抜)

**1 営業収益**

(1) 給水収益	837,156	
(2) 受託工事収益	4,500	
(3) その他営業収益	<u>87,340</u>	928,996

**2 営業費用**

(1) 原水及び浄水費	146,820	
(2) 配水及び給水費	137,065	
(3) 受託工事費	4,167	
(4) 業務費	128,601	
(5) 総係費	63,763	
(6) 減価償却費	397,944	
(7) 資産減耗費	36,936	
(8) その他営業費用	<u>1,161</u>	<u>916,457</u>

営業利益 12,539

**3 営業外収益**

(1) 受取利息及び配当金	100	
(2) 他会計補助金	6,151	
(3) 引当金戻入益	5,958	
(4) 長期前受金戻入	86,392	
(5) 雑収益	<u>335</u>	98,936

**4 営業外費用**

(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	<u>33,566</u>	<u>33,566</u>	<u>65,370</u>
経常利益			77,909
当年度純利益			77,909
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			<u>145,834</u>
当年度未処分利益剰余金			<u><u>223,743</u></u>

## 負債の部

### 3 固定負債

#### (1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に  
充てるための企業債

2,042,639

企業債合計

2,042,639

固定負債合計

2,042,639

### 4 流動負債

#### (1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に  
充てるための企業債

140,208

企業債合計

140,208

#### (2) 未払金

ア 営業未払金

25,808

イ その他未払金

8,628

未払金合計

34,436

#### (3) 引当金

ア 賞与引当金

5,117

イ 法定福利費引当金

636

引当金合計

5,753

#### (4) その他流動負債

ア 預り保証金

95

イ 預り諸税

102

ウ 他会計預り金

45

エ 過誤納金

96

その他流動負債合計

338

流動負債合計

180,735

### 5 繰延収益

#### (1) 長期前受金

ア 受贈財産評価額

1,504,857

収益化累計額

△ 535,591

969,266

イ 負担金

1,143,971

収益化累計額

△ 622,629

521,342

ウ 国庫補助金

1,190,005

収益化累計額

△ 64,227

1,125,778

長期前受金合計

2,616,386

繰延収益合計

2,616,386

負債合計

4,839,760

## 資本の部

### 6 資本金

#### (1) 固有資本金

56,895

#### (2) 繰入資本金

901,350

#### (3) 組入資本金

4,059,715

#### (4) 引継資本金

125,680

資本金合計

5,143,640

### 7 剰余金

#### (1) 資本剰余金

ア 国庫補助金

1,370

資本剰余金合計

1,370

#### (2) 利益剰余金

ア 減債積立金

119,122

イ 当年度未処分利益剰余金

223,743

利益剰余金合計

342,865

剰余金合計

344,235

資本合計

5,487,875

負債資本合計

10,327,635



# 令和元年度滝沢市水道事業予定貸借対照表

(令和2年3月31日)

(単位：千円、消費税及び地方消費税抜)

## 資産の部

### 1 固定資産

#### (1) 有形固定資産

ア 土地		157,758	
イ 建物	473,290		
減価償却累計額	<u>△ 222,839</u>	250,451	
ウ 構築物	12,609,270		
減価償却累計額	<u>△ 4,488,311</u>	8,120,959	
エ 機械及び装置	2,544,153		
減価償却累計額	<u>△ 1,544,650</u>	999,503	
オ 車両運搬具	16,556		
減価償却累計額	<u>△ 15,448</u>	1,108	
カ 工具器具及び備品	32,392		
減価償却累計額	<u>△ 22,777</u>	9,615	
有形固定資産合計			9,539,394

#### (2) 無形固定資産

ア 施設利用権		26,553	
イ 電話加入権		<u>742</u>	
無形固定資産合計			27,295

固定資産合計 9,566,689

### 2 流動資産

#### (1) 現金預金

ア 預金		<u>728,042</u>	
現金預金合計			728,042

#### (2) 未収金

ア 営業未収金	20,175		
貸倒引当金	<u>△ 683</u>	19,492	
イ 営業外未収金		11,192	
ウ その他未収金		<u>11</u>	
未収金合計			30,695

#### (3) 貯蔵品

ア 貯蔵量水器		<u>2,209</u>	
貯蔵品合計			2,209

流動資産合計 760,946

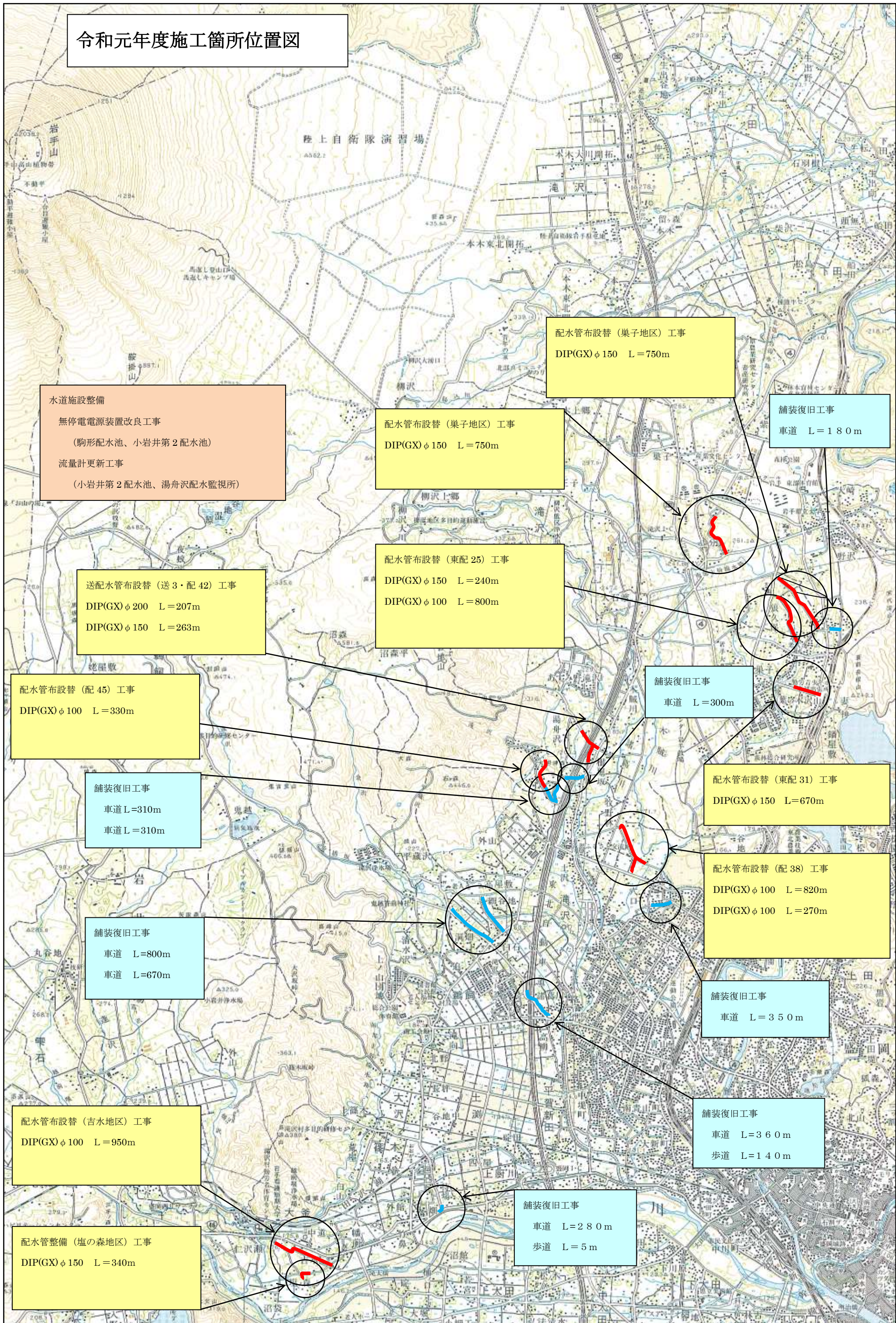
資産合計 10,327,635

令和元年度滝沢市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:千円)

項 目	既決予定額	補正予定額	計
<b>1 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当年度純利益	78,488	△ 579	77,909
減価償却費	397,944	0	397,944
固定資産除却費	3,813	0	3,813
貸倒引当金の増減額(△は減少)	181	0	181
賞与引当金及び法定福利費引当金の増減額(△は減少)	295	0	295
長期前受金戻入額	△ 86,392	0	△ 86,392
受取利息及び配当金	△ 100	0	△ 100
支払利息及び企業債取扱諸費	33,566	0	33,566
未収金の増減額(△は増加)	△ 12,530	0	△ 12,530
未払金の増減額(△は減少)	△ 23,929	0	△ 23,929
たな卸資産の増減額(△は減少)	△ 725	0	△ 725
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 10	0	△ 10
小計	390,601	△ 579	390,022
利息及び配当金の受領額	100	0	100
利息の支払額	△ 33,566	0	△ 33,566
業務活動によるキャッシュ・フロー	357,135	△ 579	356,556
<b>2 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△ 554,598	△ 303	△ 554,901
固定資産の除却による支出	17,161	0	17,161
他会計からの負担金による収入	1,000	0	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 536,437	△ 303	△ 536,740
<b>3 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	50,000	0	50,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 133,762	0	△ 133,762
他会計からの出資による収入	19,567	0	19,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 64,195	0	△ 64,195
資金減少額	243,497	882	244,379
資金期首残高	972,421	0	972,421
資金期末残高	728,924	△ 882	728,042

# 令和元年度施工箇所位置図



水道施設整備  
 無停電電源装置改良工事  
 (駒形配水池、小岩井第2配水池)  
 流量計更新工事  
 (小岩井第2配水池、湯舟沢配水監視所)

配水管布設替(巣子地区)工事  
 DIP(GX)φ150 L=750m

舗装復旧工事  
 車道 L=180m

配水管布設替(巣子地区)工事  
 DIP(GX)φ150 L=750m

送配水管布設替(送3・配42)工事  
 DIP(GX)φ200 L=207m  
 DIP(GX)φ150 L=263m

配水管布設替(東配25)工事  
 DIP(GX)φ150 L=240m  
 DIP(GX)φ100 L=800m

舗装復旧工事  
 車道 L=300m

配水管布設替(配45)工事  
 DIP(GX)φ100 L=330m

舗装復旧工事  
 車道 L=310m  
 車道 L=310m

配水管布設替(東配31)工事  
 DIP(GX)φ150 L=670m

舗装復旧工事  
 車道 L=800m  
 車道 L=670m

配水管布設替(配38)工事  
 DIP(GX)φ100 L=820m  
 DIP(GX)φ100 L=270m

舗装復旧工事  
 車道 L=350m

配水管布設替(吉水地区)工事  
 DIP(GX)φ100 L=950m

舗装復旧工事  
 車道 L=280m  
 歩道 L=5m

舗装復旧工事  
 車道 L=360m  
 歩道 L=140m

配水管整備(塩の森地区)工事  
 DIP(GX)φ150 L=340m